

南あわじ市第3次総合戦略及び
南あわじ市地方版総合戦略策定に係る
市民意識調査結果（概要）
【速報版】

※本資料については、速報版であり一部未集計のデータが含まれています

調査概要

【目的】

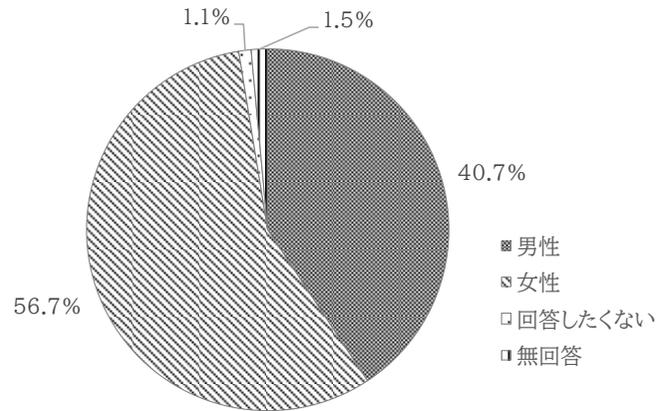
南あわじ市第3次総合戦略及び南あわじ市地方版総合戦略策定にあたって、市民の皆様のご意見や現行の総合計画に基づきこれまで実施してきた施策の満足度等に関する評価を反映させるため実施しました。

【配布・回収状況】

調査対象	市内在住の18歳以上の市民3,000人
抽出方法	住民基本台帳より無作為抽出
調査方法	郵送調査：郵送配布・回収 ※回収についてはWEBを併用
調査時期	令和7年11月19日(水)から12月18日(木)まで
配布数	3,000票
総回収数(率)	1,093票(36.4%) 調査票回答：791票 WEB回答：302票

回答者の属性

【性別】

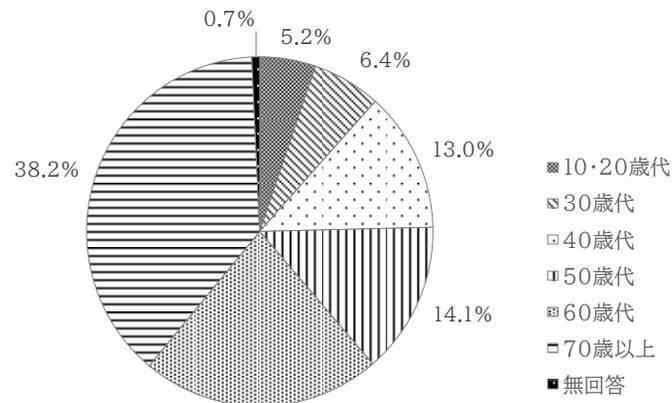


全体(N=1093)

【実際の人口構成比との比較】

	実際の人口による構成比	回答者の構成比
男性		41.4%
女性	51.8%	56.9%

【年齢】



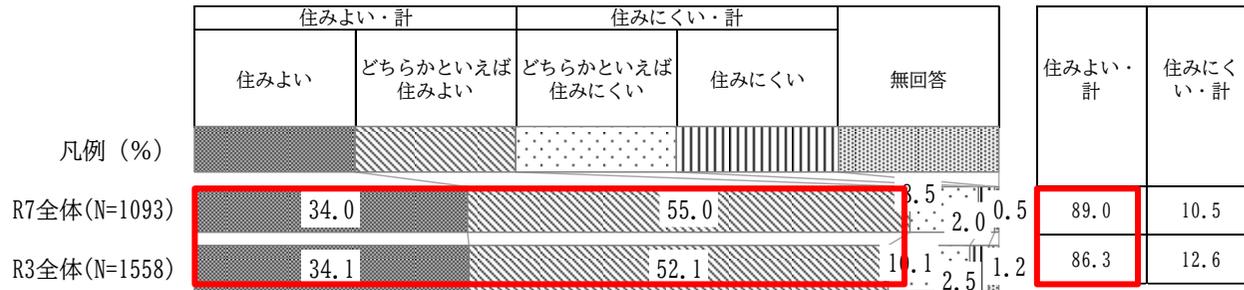
全体(N=1093)

【実際の人口構成比との比較】

	実際の人口による構成比	回答者の構成比
19歳以下	2.3%	1.3%
20～29歳	9.0%	5.2%
30～39歳	11.0%	9.8%
40～49歳		15.0%
50～59歳		15.7%
60～64歳	7.8%	9.7%
65～69歳	8.9%	12.3%
70～74歳	11.0%	12.7%
75歳以上	21.0%	17.5%

南あわじ市の暮らしや今後の居住意向について

【居住意向】



○全体

・令和3年実施時と比べて、「住みよい」の回答はあまり変わらなかったが、「どちらかといえば住みよい」の回答が2.7ポイント高くなっている。「どちらかといえば住みよい」を含む“住みよいの回答は令和3年実施時と比べて2.8ポイント高くなっている。

○年齢別

・30歳代・70歳以上で「どちらかといえば住みよい」を含む“住みよい・計”は90%を超えている。10・20歳代と50歳代において「どちらかと言えば住みにくい」を含む“住みにくい・計”が高くなっている。

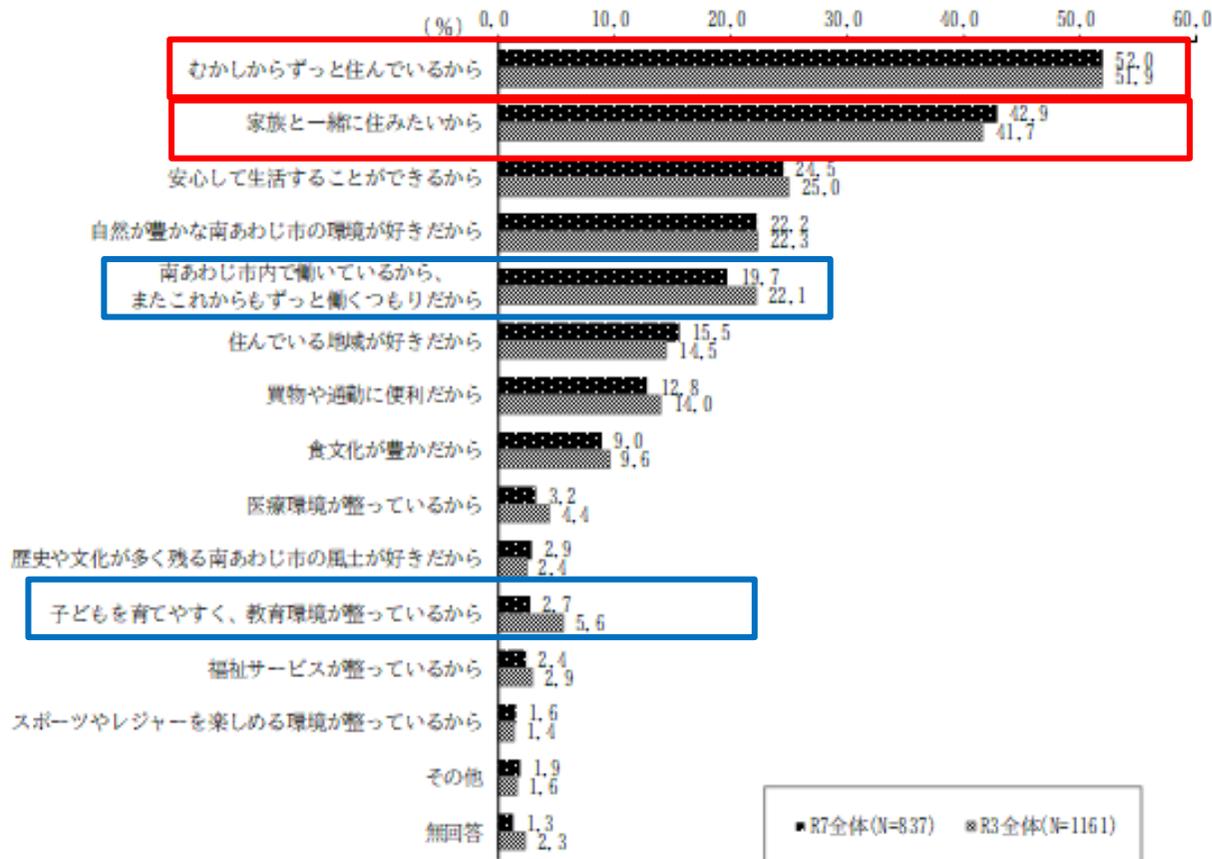
○居住地区別

・「どちらかといえば住みよい」を含む“住みよい・計”は三原地区で一番高くなっている。「どちらかと言えば住みにくい」を含む“住みにくい・計”は緑地区が一番高くなっている。

上段:人 下段:%	住みよい・計		住みにくい・計		無回答	住みよい・計	住みにくい・計
	住みよい	どちらかといえば住みよい	どちらかといえば住みにくい	住みにくい			
全体 (N=1093)	372	601	93	22	5	973	115
100.0	34.0	55.0	8.5	2.0	0.5	89.0	10.5
【年齢別】							
10・20歳代 (N=57)	23	25	7	2	0	48	9
100.0	40.4	43.9	12.3	3.5	0.0	84.2	15.8
30歳代 (N=70)	30	34	5	1	0	64	6
100.0	42.9	48.6	7.1	1.4	0.0	91.4	8.6
40歳代 (N=142)	39	88	14	1	0	127	15
100.0	27.5	62.0	9.9	0.7	0.0	89.4	10.6
50歳代 (N=154)	49	83	19	3	0	132	22
100.0	31.8	53.9	12.3	1.9	0.0	85.7	14.3
60歳代 (N=244)	61	153	20	7	3	214	27
100.0	25.0	62.7	8.2	2.9	1.2	87.7	11.1
70歳以上 (N=418)	168	213	28	8	1	381	36
100.0	40.2	51.0	6.7	1.9	0.2	91.1	8.6
【居住地区別】							
緑地区 (N=136)	38	75	19	4	0	113	23
100.0	27.9	55.1	14.0	2.9	0.0	83.1	16.9
西淡地区 (N=232)	64	148	13	7	0	212	20
100.0	27.6	63.8	5.6	3.0	0.0	91.4	8.6
三原地区 (N=391)	156	204	25	5	1	360	30
100.0	39.9	52.2	6.4	1.3	0.3	92.1	7.7
南淡地区 (N=327)	114	169	36	6	2	283	42
100.0	34.9	51.7	11.0	1.8	0.6	86.5	12.8

南あわじ市の暮らしや今後の居住意向について

【住み続けたい理由】



○全体

・令和3年実施時に比べて目立った大きな変動はないが、「家族と一緒に住みたいから」「住んでいる地域が好きだから」が微増しており、「南あわじ市内で働いているから、またこれからもずっと働くつもりだから」「子どもを育てやすく、教育環境が整っているから」が減少している。

○年齢別

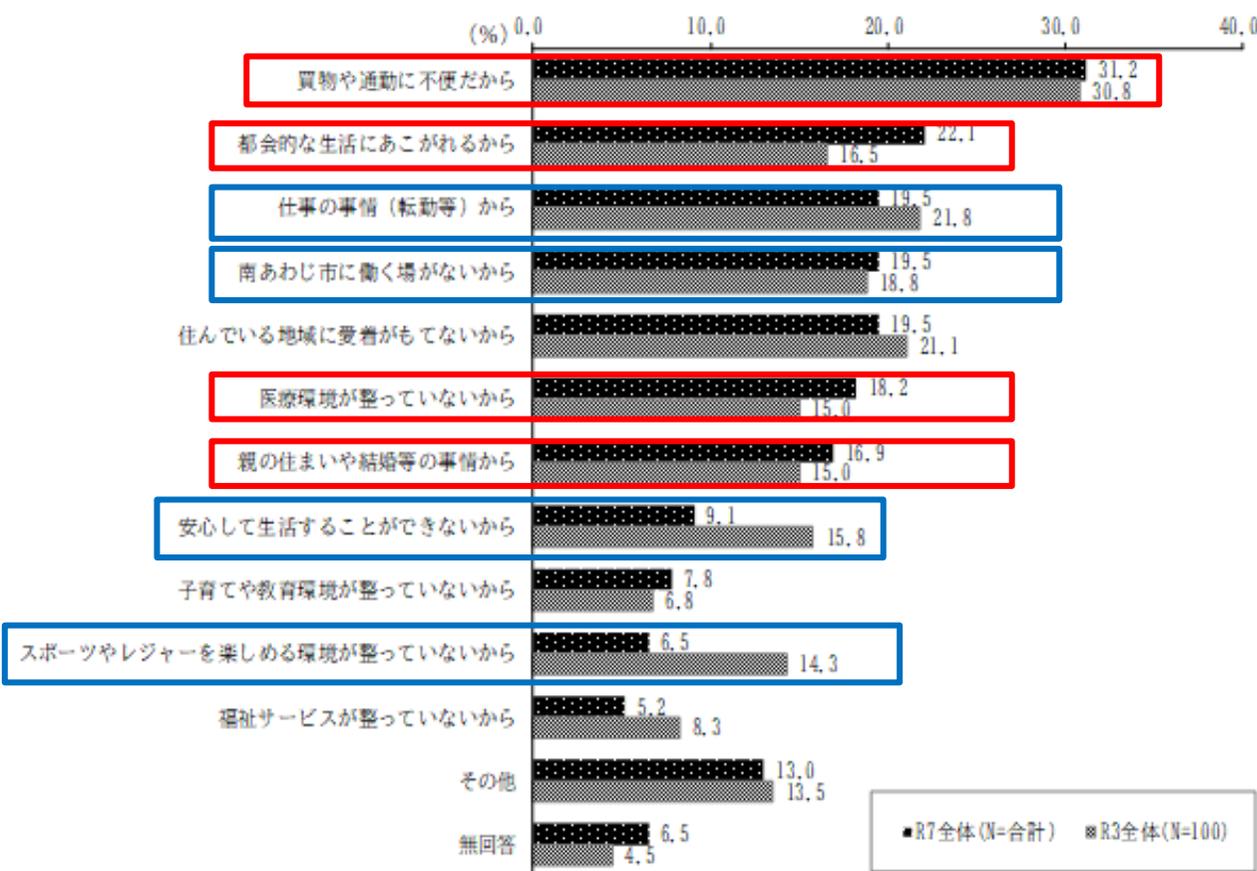
・10歳・20歳代及び50～70歳代で「昔からずっと住んでいるから」という回答が一番高くなっている。

○居住地区別

・緑地区のみ「家族と一緒に住みたいから」が一番高い回答となっており、そのほかの3地区では「昔からずっと住んでいるから」が一番高くなっている。

南あわじ市の暮らしや今後の居住意向について

【住み続けたくない理由】



○全体

・令和3年実施時に比べて「都会的な生活にあこがれるから」「医療環境が整っていないから」と回答した人が多くっており、「安心して生活することができないから」「スポーツやレジャーを楽しめる環境が整っていないから」と回答した人が大きく減少している。

○年齢別

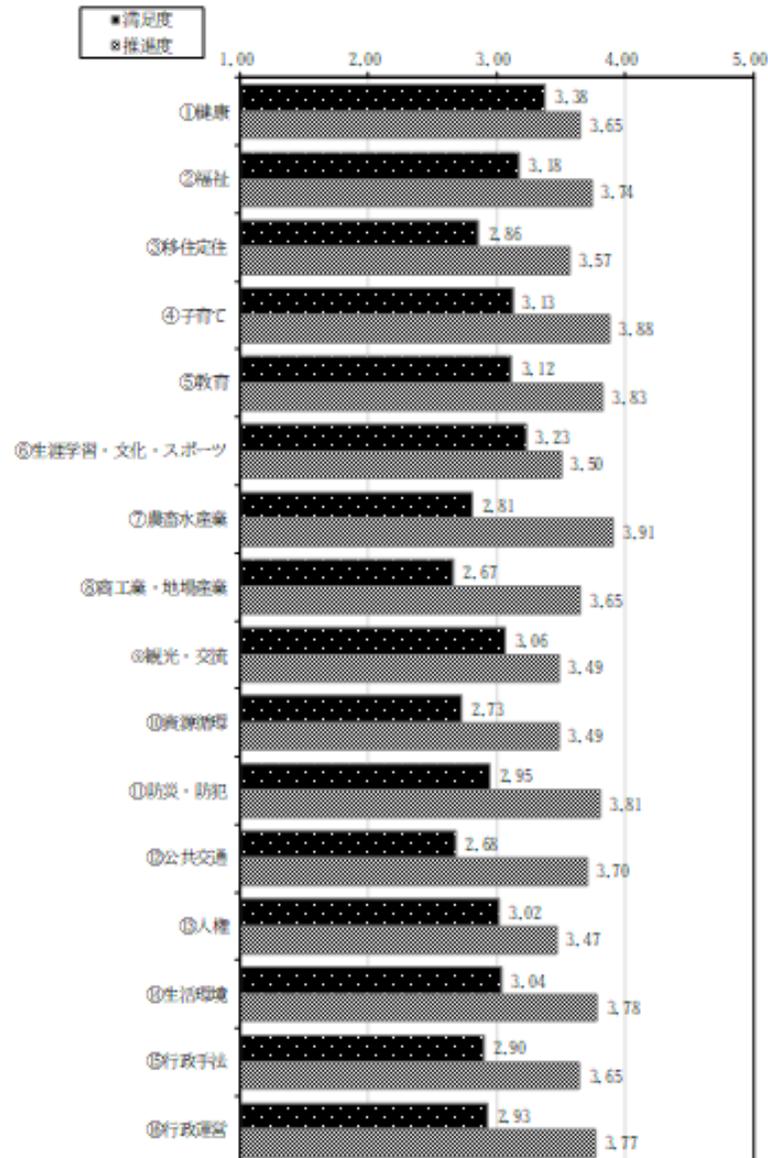
・30歳代で「親の住まいや結婚等の事情から」「子育てや教育環境が整っていないから」の回答が高くなっている。

○居住地別

・緑・三原・南淡地区では、「買い物や交通に不便だから」が高くなっている。南淡地区はそのほかに「仕事の事情(転勤等)から」「南あわじ市に働く場所がないから」「親の住まいや結婚等の事情から」も同等程度の回答となっている。

まちづくりの評価について

【満足度と推進度の相関関係】



単位(点)	満足度	推進度
①健康	3.38	3.65
②福祉	3.18	3.74
③移住定住	2.86	3.57
④子育て	3.13	3.88
⑤教育	3.12	3.83
⑥生涯学習・文化・スポーツ	3.23	3.50
⑦農畜水産業	2.81	3.91
⑧商工業・地場産業	2.67	3.65
⑨観光・交流	3.06	3.49
⑩資源循環	2.73	3.49
⑪防災・防犯	2.95	3.81
⑫公共交通	2.68	3.70
⑬人権	3.02	3.47
⑭生活環境	3.04	3.78
⑮行政手法	2.90	3.65
⑯行政運営	2.93	3.77
平均	2.98	3.68

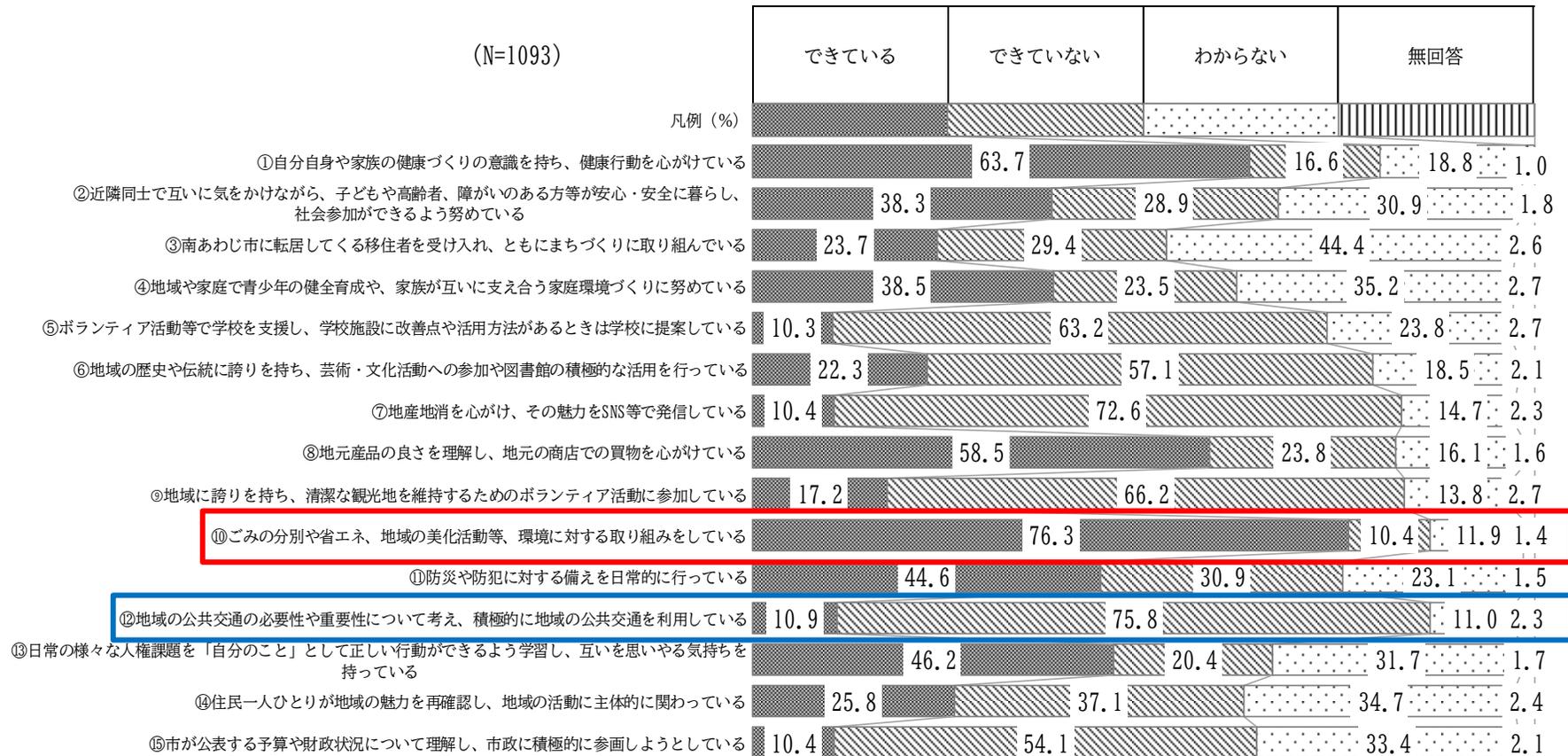
○左記16項目を、満足度・推進度に関して5段階で評価してもらい評価点を算出。

○満足度においては、「①健康」「②福祉」「⑥生涯学習・文化・スポーツ」が上位3つとなった。一方で「⑩資源循環」「⑫公共交通」「⑧商工業・地場産業」が下位3つとなった。

○推進度においては「⑦農畜水産業」「④子育て」「⑤教育」が上位3つとなった。一方で「⑬人権」「⑨観光・交流」「⑩資源循環」が下位3つとなった。

まちづくりの評価について

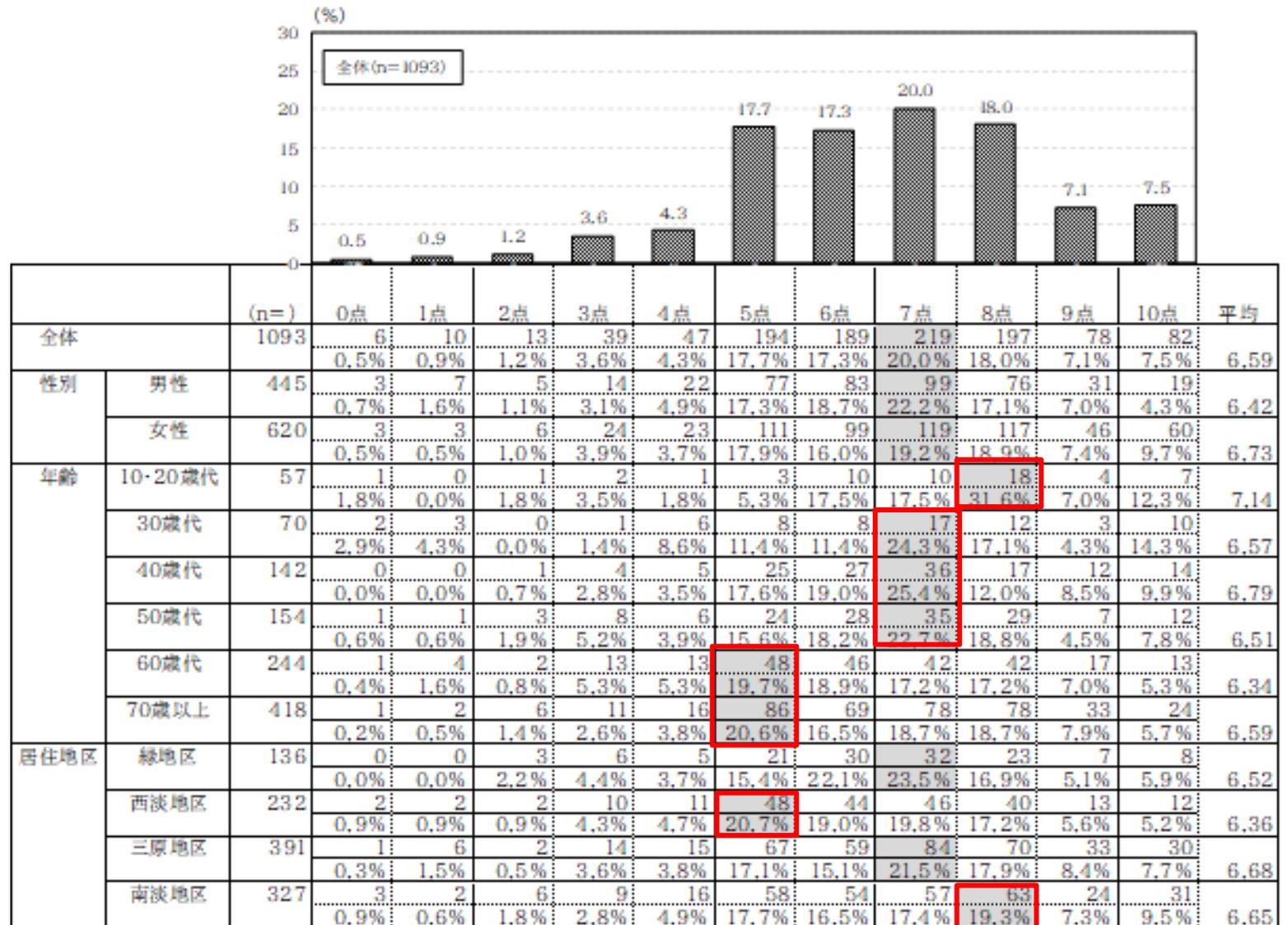
【総合計画に掲げる市民の役割の実践度】



- ・総合計画に示されている市民の役割について「できている」と回答した割合が一番高いのは「ごみの分別や省エネ、地域の美化活動等、環境に対する取り組みをしている」であった。
- ・「できていない」と回答した割合が一番高いのは「地域の公共交通の必要性や重要性について考え、積極的に地域の公共交通を利用している」であった。

幸福度について

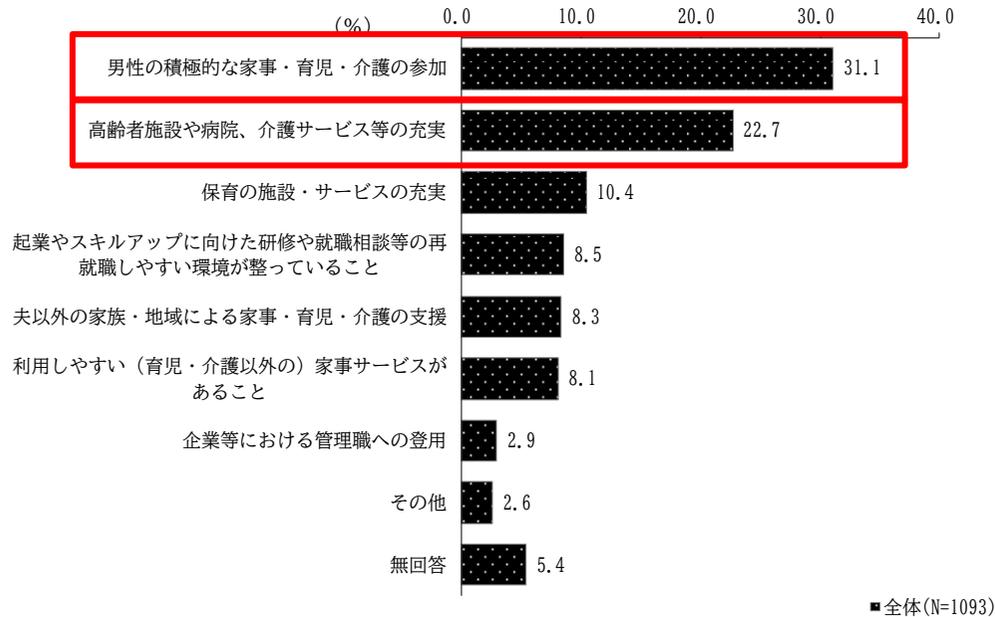
【市民の幸福度】



- ・現在の幸福度の平均は6.59となっており、30～50歳代では、「7点」の回答の割合が一番高く、10歳・20歳代は「8点」が、60歳～70歳代では「5点」が一番回答の割合が高くなっている。
- ・居住地区別では、南淡地区で「8点」と回答した割合が一番高く、西淡地区で「5点」と回答した割合が一番高くなっている。

男女共同参画について

【女性活躍を推進するうえでの重要項目】



・全体では「男性の積極的な家事・育児・介護の参加」が高く、令和3年実施時に引き続き家庭での役割分担が重視されている。

・年齢別では、10歳代～50歳代で「男性の積極的な家事・育児・介護の参加」が高く、10～30歳代では「保育の施設・サービスの充実」も高くなっている。

項目	上段:人 下段:%	男性の積極的な家事・育児・介護の参加	高齢者施設や病院、介護サービス等の充実	保育の施設・サービスの充実	起業やスキルアップに向けた研修や就職相談等の再就職しやすい環境が整っていること	夫以外の家族・地域による家事・育児・介護の支援	利用しやすい（育児・介護以外の）家事サービスがあること	企業等における管理職への登用	その他	無回答
		全体 (N=1093)	100.0	340 31.1	248 22.7	114 10.4	93 8.5	91 8.3	88 8.1	32 2.9

【性別】

性別	人数	男性の積極的な家事・育児・介護の参加	高齢者施設や病院、介護サービス等の充実	保育の施設・サービスの充実	起業やスキルアップに向けた研修や就職相談等の再就職しやすい環境が整っていること	夫以外の家族・地域による家事・育児・介護の支援	利用しやすい（育児・介護以外の）家事サービスがあること	企業等における管理職への登用	その他	無回答
男性	(N=445)	123 27.6	97 21.8	64 14.4	34 7.6	36 8.1	42 9.4	16 3.6	13 2.9	20 4.5
女性	(N=620)	209 33.7	145 23.4	47 7.6	58 9.4	53 8.5	44 7.1	14 2.3	14 2.3	36 5.8
回答したくない	(N=12)	3 25.0	1 8.3	3 25.0	1 8.3	1 8.3	0 0.0	1 8.3	0 0.0	2 16.7

【年齢別】

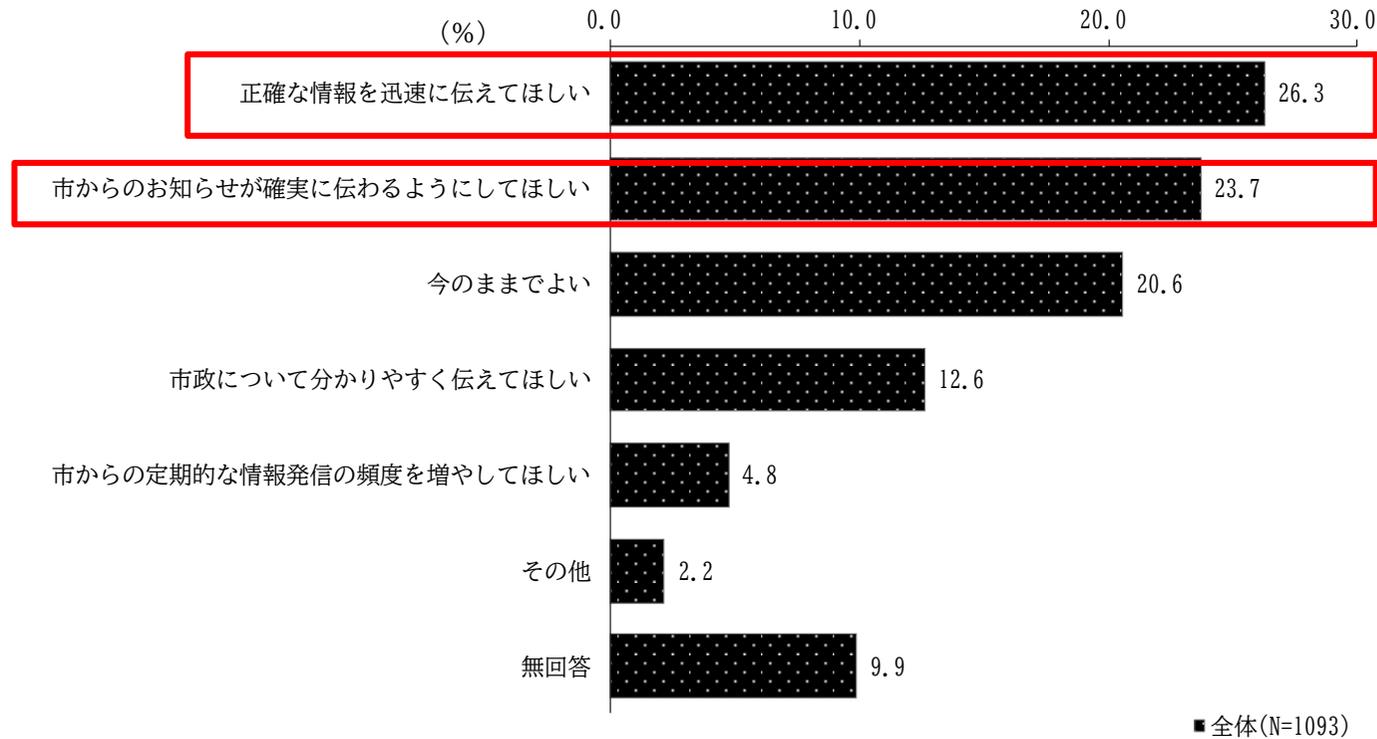
年齢	人数	男性の積極的な家事・育児・介護の参加	高齢者施設や病院、介護サービス等の充実	保育の施設・サービスの充実	起業やスキルアップに向けた研修や就職相談等の再就職しやすい環境が整っていること	夫以外の家族・地域による家事・育児・介護の支援	利用しやすい（育児・介護以外の）家事サービスがあること	企業等における管理職への登用	その他	無回答
10・20歳代	(N=57)	24 42.1	3 5.3	11 19.3	6 10.5	4 7.0	2 3.5	5 8.8	2 3.5	0 0.0
30歳代	(N=70)	29 41.4	6 8.6	13 18.6	2 2.9	4 5.7	7 10.0	1 1.4	6 8.6	2 2.9
40歳代	(N=142)	56 39.4	10 7.0	20 14.1	11 7.7	19 13.4	13 9.2	7 4.9	2 1.4	4 2.8
50歳代	(N=154)	59 38.3	22 14.3	17 11.0	15 9.7	14 9.1	11 7.1	7 4.5	4 2.6	5 3.2
60歳代	(N=244)	65 26.6	57 23.4	26 10.7	30 12.3	26 10.7	21 8.6	6 2.5	6 2.5	7 2.9
70歳以上	(N=418)	104 24.9	149 35.6	27 6.5	29 6.9	24 5.7	33 7.9	6 1.4	8 1.9	38 9.1

【居住地域別】

地域	人数	男性の積極的な家事・育児・介護の参加	高齢者施設や病院、介護サービス等の充実	保育の施設・サービスの充実	起業やスキルアップに向けた研修や就職相談等の再就職しやすい環境が整っていること	夫以外の家族・地域による家事・育児・介護の支援	利用しやすい（育児・介護以外の）家事サービスがあること	企業等における管理職への登用	その他	無回答
緑地区	(N=136)	36 26.5	28 20.6	20 14.7	12 8.8	16 11.8	13 9.6	5 3.7	2 1.5	4 2.9
西浜地区	(N=232)	51 22.0	59 25.4	30 12.9	21 9.1	17 7.3	17 7.3	9 3.9	9 3.9	19 8.2
三原地区	(N=391)	147 37.6	72 18.4	37 9.5	37 9.5	34 8.7	32 8.2	9 2.3	9 2.3	14 3.6
南浜地区	(N=327)	103 31.5	89 27.2	27 8.3	23 7.0	24 7.3	25 7.6	9 2.8	8 2.4	19 5.8

南あわじ市の広報活動について

【南あわじ市の広報で望むもの】



・南あわじ市の広報活動において、市民が望むのは「正確な情報を迅速に伝えてほしい」「市からのお知らせが確実に伝わるようにしてほしい」が上位2つという結果となっている。